

毎週日曜発行  
2022 12/18

# こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

## ニュース



## あなたもヤングケアラーかも

### こんな人が当てはまる

「ヤングケアラー」を知っているかな。本来は大人がやる家事や家族の世話などを、日常的にやっている18歳未満の子どものことだよ。進学などその子の人生に影響が出るので、支援の必要性が指摘されているよ。ヤングケアラー支援に取り組む団体に、実情を取材しました。

障害や病気になる家族の身の回りの世話をしている

がんなど慢性的な病気の家族を看病している

障害や病気になる家族に代わり、料理や洗濯などの家事をしている

目を離せない家族の見守りや声かけなどをしている

# 人生に影響 声を上げて

◇ 仙台市宮城野区のNPO法人アスイクは本年度、市の委託を受け、かつてヤングケアラーだった若者が、子どもたちの悩みを聞いたりアドバイスをしたりしています。アスイクの森川ゆとりさん(27)は「家族の世話や家事をするのは『当たり前』と考え、自分がヤングケアラーだと気付いていない子どもが多い」と話します。



宮城県の調査では、2021年4月時点で県内にはヤングケアラーが少なくとも1577人いて、うち小学生が70人、中学生は56人でした。本人の自覚や周りが気付いていないだけで、もっと多くいるとの指摘もあり、ヤングケアラーが全国で何人いるかを国が調査しています。ヤングケアラーは、家族の世話のため遅刻したり、部活動ができなかったりと、学校生活に影響するケースが多いとされ

ます。森川さんは「ケアに追われて不登校になる子もいる。先生や近所の人ら、周りの大人が気付いてやることも大切」と強調します。



家族が病気や障害を抱えている、親が仕事の都合で帰りが遅いなど、ヤングケアラーとなる理由はさまざま。問題を解決するには時間がかかることもあるため、仙台市やアスイクは相談できる環境を整えています。

◇ ヤングケアラーの経験があり、アスイクで活動するボランティアの若者は「つらかったら誰かに話してみよう」と呼びかけます。森川さんも「遠慮しないで声を上げてほしい」と訴えます。

◇ 仙台市は、市内に住む人から、ヤングケアラーに関する相談を電話で24時間受け付けています。連絡先は市子供相談支援センター(0120)783017です。

## 今週の注目ニュース

◇20日(火) シーラカンスの日  
1938年のこの日、絶滅したと考えられていたシーラカンスが南アフリカの沖で捕獲され、学術調査が行われたよ。いわき市のアクアマリンふくしまはシーラカンスの研究で知られ、標本が展示されています。

## 11月の紙面

- 2面 みんなのギモンにこたえるモン
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 かほく防災記者 1期生レポート

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ